

平成30年度 第2回向日市男女共同参画審議会 議事要点録

○ 日 時 平成31年3月13日（水）午前10時から正午まで

○ 場 所 女性活躍センター 小会議室 ミーティングルーム

○ 出席者

（委員）

岩野委員、大束委員、高山委員、竹井委員、松田委員、松野委員、宮川委員、森田委員
（事務局・説明員等）

広聴協働課 田口課長、西村副課長、若山主任、橋田主査

○ その他出席者

傍聴者 なし

○ 会議概要

1 議事内容

（1）平成30年度向日市男女共同参画推進事業（中間報告）について（資料1）

プランに基づき実施した平成30年度の男女共同参画推進事業（広聴協働課分）について、事務局から説明を行った。

（2）平成30年度向日市女性活躍推進事業報告について（中間報告）（資料2）

女性活躍推進事業について事務局から説明を行った。

（3）平成30年度向日市女性活躍センター利用状況について（資料3）

向日市女性活躍センターの利用状況について、事務局から説明を行った。

【意見の要旨】

一議事内容（1）について一

事務局 今年度は長年市民の方が待ち続けたセンターが7月にオープンし、市民の方に男女共同参画を学習するプログラムを行ってはどうかという意見をいただいたため、市民の皆様が男女共同参画の基礎的な知識を見につけることを目的に、新規事業として労働問題の講演会や、デートDVの講演会を行った。

来年度以降も継続的に基礎的な知識を確認していただくためのプログラムを検討している。

また、来年度以降は若い方にも早くから男女共同参画についてや、不当な暴力がまだまだ世の中にたくさんあることを知っていただく機会を検討している。

委員 講演会の男女比はどのくらいか。

事務局 いきいきフォーラムは落合さんという著名人が講師であったこともあり、ラジオのパーソナリティーをされていた時を知る60歳以上の男性の方が1割か

ら2割は来られていた。講演についてのアンケートの自由記載欄には多くの方からメッセージを書いていたなどの、非常に充実した講演会であったと評価している。

そのほかの講演会については、ほとんどが女性であった。

会長 今回、初めて労働に関する講演会をいきいきフォーラム実行委員会の学習会に合わせて実施したが、商工会関係にも広報を行ったか。

事務局 商工会の事務所にチラシの配架をお願いした。また、商工会女性部に情報提供を行った。

会長 一般参加者はどういった方が受講したか。

事務局 手話通訳を必要とする方が3名に加えて以前に男女共同参画事業に携わっていた方が来られた。

委員 女性リーダー派遣研修についてであるが、他の方に研修報告ができるような場を作っていただけだと考えるがどうか。

事務局 今年度は募集時に感想文の公開について参加者に事前に承諾を得ており、来年度の広報誌に感想文の要点を掲載するほか、募集チラシに掲載することを検討している。

また、いきいきフォーラム実行委員会の委員から感想を聞きたいとの要望があり、次回の実行委員会において紹介する予定にしている。

委員 派遣の申込み定員は4名であったが申込み人数は何人か。また、どういう基準で選考したのか。

事務局 5名の申込みがあり、4名を派遣対象者として決定した。

委員 あすもあの団体登録の手続きはどのようにするのか。

事務局 団体名称、団体の人数、団体の活動目的等を申請書に記載していただく。

また、申請書の書き方が分からなければ、男女共同参画プランを基に女性活躍センターに従事する職員がアドバイスをを行い、登録をしてもらっている。

委員 団体の代表者が市民ではないが、活動拠点及び構成員は向日市民であるが利用できないか。

事務局 団体のメンバーの概ね半数が向日市に在住及び在学又は在勤であれば登録はできる。

会長 登録しなければセンターの利用はできないか。

事務局 原則として利用できない。

会長 登録を必要としているのは、継続的な利用を目的としたことが前提であるのか。

事務局 継続的な利用を考えている。

会長 シンボルマークやモニュメント等を目立つ場所に設置してみてはどうか。
また、女性活躍センターの周知チラシ等を作成する必要があるのではないか。
事務局 まずは、チラシの作成について検討していく。

―議事内容（２）について―

委員 キラ女子タイムズの配布場所はどこか。

事務局 キラ女子タイムズに掲載している店舗や市内の公共施設に置く予定としている。

会長 市内全域地図を掲載し、掲載店舗を分かりやすくする必要があったと思うが、次号を出す予定はあるのか。

事務局 施設を利用されている市民の皆様からは女性活躍センターの施設予約やイベント情報を Web で公開してはどうかとの意見をもらっているため、様々な方法での情報の集約や提供を検討していく。

会長 女性活躍センターの Web の作成はしていないのか。

事務局 まだ作成には至っていない。

会長 今後のワークショップは Web デザインについて企画し、女性活躍センターの Web 作成を行ってはどうか。

事務局 検討する。

会長 紙以外の媒体の力が強いため、今後 Web ページの作成を行うように検討いただきたい。

委員 女性活躍センターが頑張っている女性を応援する施設に加えて、悩んでいる企業の相談窓口を設置する等、雇用側の企業に対しても働きかけを考えていく必要があると思うがどうか。

事務局 市内の企業から相談があったときは、市と京都府と企業が連携できるような仕組みを作っていきたいと考えている。

―議事内容（３）について―

委員 女性活躍センターの稼働率などはないのか。

事務局 現在は年度途中のため、来年度の審議会では稼働率を報告できるように準備を進める。

委員 女性活躍センターの目的にあった団体に貸し出しを行って欲しい。

会長 大阪のドーンセンターであれば、登録団体には施設の使用料の割引や予約を一般の市民の方より早くできるなどの特典があるが、将来的には考えているのか。

委員 空いている場合は一般の市民の方にお貸しすれば良いと思う。そうでなければ

ば市民団体は成長しないと思う。

市民が何か始めたいと思われたとき利用しやすい施設が求められていると思う。

会長 この施設は緩やかな予約制を取っていただきたい。

事務局 コミセンや公民館は1か月に2回までの回数制限があるが、女性活躍センターは現状では、上限を定めていない。また、電話での仮予約も行っている。

委員 インターネットでの予約について行う予定はあるか。

事務局 他の館との調整もあるので、今後の課題であると認識している。

委員 女性活躍センターでの活動をきっかけに、新たに女性活躍のグループを作って自主的に活動できる団体がいいと思うがどうか。

事務局 まだまだ利用者間や事業参加者間の繋がりが、新たに自主的な活動をするには至っていない。日本女性会議に行っていた方やこれまで一緒に活動してきた方と今後の事業を一緒に行えるよう引き続き取り組んでいく。

会長 女性団体懇話会の11団体はすべて女性活躍センターに団体登録されているのか。

事務局 一部登録されている。来年度の懇話会開催時に登録についての具体的な説明を予定している。

会長 あすもあ祭りなど考えてはいかがか。

事務局 記念週間等、男女共同参画に係る主要事業の実施とともに、何らかの取組が行えないか、今後検討する。

事務局 次回の審議会については4月以降に日程調整を行う。来年度は男女共同参画プラン策定に向けてのアンケートの実施を予定している。